

2009年9月期 中間決算説明会



Automobile Industry



Electronics Industry

May 13, 2009

1/33



2009年9月期中間
業績結果について



2/33

<連結>



2009年9月期中間決算概要-

連結損益計算書

(単位 百万円)

	09/9期中間	08/9期中間	増減額	増減率
売上高	12,969	24,213	11,243	46.4%
売上総利益	2,912	6,930	4,017	58.0%
売上総利益率	22.5%	28.6%		6.2P
販管費	2,981	3,520	539	15.3%
販管費率	23.0%	14.5%		+8.4P
営業利益	68	3,409	3,477	102.0%
営業利益率	0.5%	14.1%		14.6P
経常利益	231	3,543	3,774	106.5%
経常利益率	1.8%	14.6%		16.4P
当期純利益	925	2,031	2,957	145.5%
当期純利益率	7.1%	8.4%		15.5P

売上高が大幅に減少

世界的規模で急激な景気後退により、主要顧客である自動車・エレクトロニクス業界の需要が激減し、溶接・平面研磨両事業共に売上が大幅に減少

営業・経常損失

コスト削減に努めたものの、大幅な売上減少、円高により営業利益、経常利益共にマイナス



3/33

<連結>



2009年9月期中間決算概要-

連結損益計算書

セグメント別損益

両セグメント共に売上が大幅に減少、特に平面研磨事業では、前中間期に比し61.3%減

(単位 百万円)

	溶接	増減額	平面研磨	増減額	合計	増減額
売上高	7,839	3,116	5,130	8,126	12,969	11,243
売上総利益	1,528	1,451	1,384	2,565	2,912	4,017
売上総利益率	19.5%	7.7P	27.0%	2.8P	22.5%	6.2P
販管費	1,672	180	1,309	358	2,981	539
販管費率	21.3%	+4.4P	25.5%	+12.9P	23.0%	+8.4P
営業利益	143	1,271	75	2,206	68	3,477
営業利益率	1.8%	12.2P	1.5%	15.7P	0.5%	14.6P

* 上記は参考数値であり正式な開示数値ではありません

* 溶接にはレーザーが含まれております



4/33

<連結>



2009年9月期中間決算概要-

連結損益計算書

販売費及び一般管理費

経費削減に努めたものの、大幅な売上減により、販管費の対売上比率は14.5%から23.0%へと上昇

(単位 百万円)

	09/9期中間		08/9期中間		増減
	金額	売上比	金額	売上比	金額
人件費	1,484	11.5%	1,698	7.0%	214
減価償却費	104	0.8%	151	0.6%	47
運送費	208	1.6%	397	1.6%	188
旅費交通費	177	1.4%	241	1.0%	63
研究開発費	288	2.2%	215	0.9%	+72
その他	717	5.5%	816	3.4%	98
合計	2,981	23.0%	3,520	14.5%	539



5/33

<連結>



2009年9月期中間決算概要-

営業外損益

為替差損 216百万円(08/9中 174百万円)

円高により為替差損が増加(US\$ 09/9中 95円、08/9中108円)



6/33

< 連結 >



2009年9月期中間決算概要-

連結貸借対照表

(単位 百万円)

資産	09/9期中間		08/9期		増減	負債純資産	09/9期中間		08/9期		増減
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	18,060	63.4%	24,955	68.6%	6,895	流動負債	5,981	21.0%	10,556	29.0%	4,574
有形固定資産	8,678	30.5%	9,382	25.8%	704	固定負債	545	1.9%	637	1.8%	92
無形固定資産	231	0.8%	225	0.6%	+6	(有利子負債)	(2,190)	(7.7%)	(1,921)	(5.3%)	(+269)
投資等	1,517	5.3%	1,791	5.0%	274	純資産	21,959	77.1%	25,161	69.2%	3,201
合計	28,486	100.0%	36,355	100.0%	7,868	合計	28,486	100.0%	36,355	100.0%	7,868

< 主な増減 >

売掛債権	4,335百万円減	(09/9中)	6,047百万円	08/9期	10,383百万円)
たな卸資産	1,936百万円減	(09/9中)	5,509百万円	08/9期	7,445百万円)
買掛債務	2,782百万円減	(09/9中)	1,918百万円	08/9期	4,701百万円)
前受金	999百万円減	(09/9中)	434百万円	08/9期	1,433百万円)
自己株式	997百万円増	(09/9中)	1,077百万円	08/9期	79百万円)
自己資本比率	21/9中 74.9%	20/9期 67.3%			



売上及び受注の減少により、売掛債権・たな卸資産・支払債務が減少。相対的に総資産が減少したことにより、自己資本比率は増加。また、自己株取得により、自己株式が増加

7/33



通期の見通しと グループの展望



8/33

< 連結 >

連結会社の系統図



OBARA株式会社



溶接機器

平面研磨装置

OBARA CORP. USA
 小原（南京）機電有限公司
 小原（上海）有限公司
 韓国小原株式会社
 OBARA (THAILAND) CO., LTD.
 OBARA (MALAYSIA) SDN.BHD.
 洋光産業株式会社
 OBARA MEXICO, S.DE R.L.DE C.V.
 OBARA AUSTRALIA PTY.LTD.
 OBARA INDIA PRIVATE LTD.
 LLC " OBARA RUS "

スピードファム株式会社

スピードファム長野株式会社
 SPEEDFAM INC.(台湾)
 SPEEDFAM(INDIA)PVT LTD.
 SPEEDFAM MECHTRONICS(上海)
 SPEEDFAM CORPORATION(USA)
 S/Fクリーンシステム株式会社
 SpeedFam NV/SA (ベルギー)
 SPEEDFAM KOREA LTD.



9/33

< 連結 >

2009年9月期業績予想（通期連結）



(単位 百万円)

	09/9期予想	08/9期実績	増減額	増減率
売上高	21,500	46,225	24,725	53.5%
売上総利益	4,000	13,083	9,083	69.4%
売上総利益率	18.6%	28.3%		9.7P
販管費	5,800	7,370	1,570	21.3%
販管費率	27.0%	15.9%		+11.0P
営業利益	1,800	5,712	7,512	131.5%
営業利益率	8.4%	12.4%		20.7P
経常利益	1,900	5,851	7,751	132.5%
経常利益率	8.8%	12.7%		21.5P
当期純利益	2,500	3,109	5,609	180.4%
当期純利益率	11.6%	6.7%		18.4P



10/33

<連結>



2009年9月期業績予想（上・下半期）

(単位 百万円)

	09/9期 上半期実績	前同期比	09/9期 下半期予想	前同期比
売上高	12,969	11,243	8,530	13,482
売上総利益	2,912	4,017	1,087	5,065
売上総利益率	22.5%	6.2P	12.7%	15.2P
販管費	2,981	539	2,818	1,031
販管費率	23.0%	+8.4P	33.0%	+15.6P
営業利益	68	3,477	1,731	4,034
営業利益率	0.5%	14.6P	20.3%	30.8P
経常利益	231	3,774	1,668	3,977
経常利益率	1.8%	16.4P	19.6%	30.1P
当期純利益	925	2,957	1,574	2,652
当期純利益率	7.1%	15.5P	18.5%	23.4P



11/33

<連結>



2009年9月期業績予想（セグメント別）

(単位 百万円)

	溶接	前同期比	平面研磨	前同期比	合計	前同期比
売上高	13,500	6,576	8,000	18,148	21,500	24,725
売上総利益	2,136	3,196	2,000	5,750	4,136	8,947
売上総利益率	15.8%	10.7P	25.0%	4.6P	19.2%	9.1P
販管費	3,256	631	2,680	803	5,936	1,434
販管費率	24.1%	+4.8P	33.5%	+20.2P	27.6%	+11.7P
営業利益	1,120	2,565	680	4,946	1,800	7,512
営業利益率	8.3%	15.5P	8.5%	24.8P	8.4%	20.7P



* 上記は参考数値であり正式な開示数値ではありません
* 溶接にはレーザーが含まれております

12/33

< 連結 >



主な項目の実績と予想

設備投資計画を大幅に見直し、研究開発投資については、期初予想の水準を維持

	08年9期実績	09年9月期 前回見通し	09年9月期 今回見通し	前回見通し からの増減額
設備投資	1,751百万円	1,000百万円	200百万円	800百万円
減価償却費	1,154百万円	1,000百万円	950百万円	50百万円
研究開発費	742百万円	700百万円	700百万円	±0
銅価格	89万円/ton	50万円/ton	50万円/ton	±0
為替想定レート	107.32円	100.00円	95.00円	5.00円



13/33

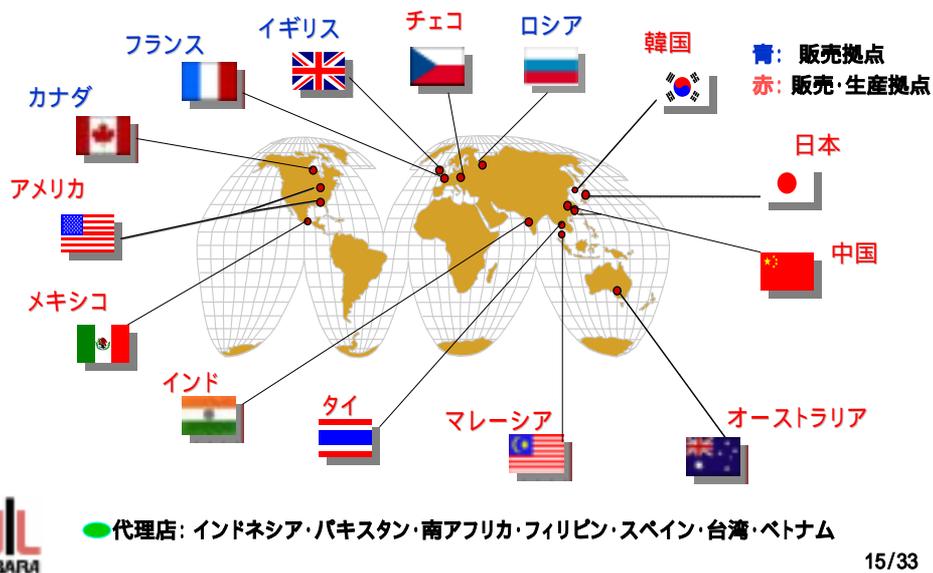
< 溶接連結 >



14/33

< 溶接連結 >

グローバルネットワーク



< 溶接連結 >

主要原材料、銅の値動き



< 溶接連結 >

溶接事業 2009年9月期業績予想

(単位 百万円)

	09/9期 上半期実績	前同期比	09/9期 下半期予想	前同期比	09/9期 通期予想	前同期比
売上高	7,839	3,116	5,660	3,460	13,500	6,576
売上総利益	1,528	1,451	607	1,744	2,136	3,196
売上総利益率	19.5%	7.7P	10.7%	15.1P	15.8%	10.7P
販管費	1,672	180	1,583	450	3,256	631
販管費率	21.3%	+4.4P	28.0%	+5.7P	24.1%	+4.8P
営業利益	143	1,271	976	1,294	1,120	2,565
営業利益率	1.8%	12.1P	17.2%	20.7P	8.3%	15.5P

* 上記は参考数値であり正式な開示数値ではありません
* 溶接にはレーザが含まれております

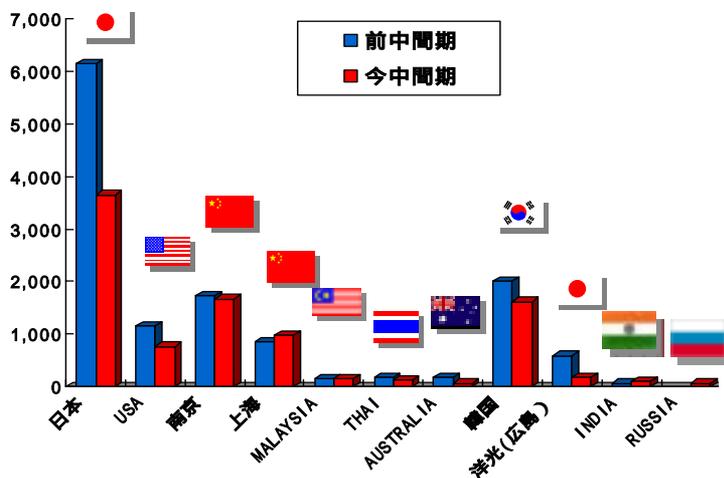


17/33

< 溶接連結 >

会社別の売上高実績 (中間期)

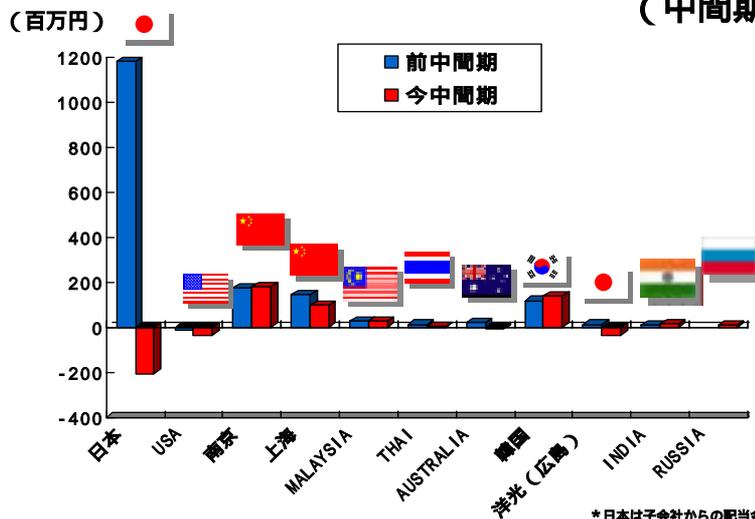
(百万円)



18/33

会社別の当期純利益実績

(中間期)



*日本は子会社からの配当金を含む



平面研磨事業の概況



SPEEDFAM

平面研磨事業の概況

エレクトロニクス分野の調整局面が継続

- ▶ エレクトロニクス関連素材の未曾有の減産を受け、消耗副資材の販売動向も軟調
- ▶ 市場ニーズを先取りした研究開発を継続しながら、シリコンウェーハ・ハードディスク業界などの、設備投資の回復時期を注視

21/33

平面研磨事業 2009年9月期業績予想

(単位 百万円)

	09/9期 上半期実績	前同期比	09/9期 下半期予想	前同期比	09/9期 通期予想	前同期比
売上高	5,130	8,126	2,869	10,021	8,000	18,148
売上総利益	1,384	2,565	615	3,184	2,000	5,750
売上総利益率	27.0%	2.8P	21.5%	8.0P	25.0%	4.6P
販管費	1,309	358	1,370	445	2,680	803
販管費率	25.5%	+12.9P	47.8%	+33.7P	33.5%	+20.2P
営業利益	75	2,206	755	2,739	680	4,946
営業利益率	1.5%	15.7P	26.3%	41.7P	8.5%	24.8P

* 上記は参考数値であり正式な開示数値ではありません

22/33

商品群

- 片面研磨装置、両面研磨装置
- 端面研磨装置（エッジポリッシャー）
- 洗浄装置
- ドライエッチャー装置（DCP）
- 消耗副資材（定盤・研磨剤・研磨布など）

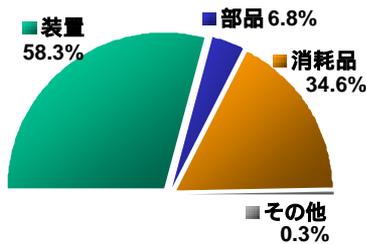
平面研磨事業

23/33

セグメント情報

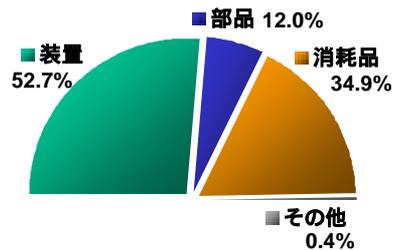
- 商品別売上構成比 -

2008年9月期中間



(13,257百万円)

2009年9月期中間



(5,130百万円)

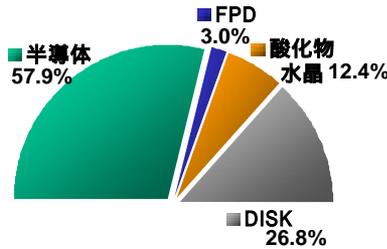
平面研磨事業

24/33

セグメント情報

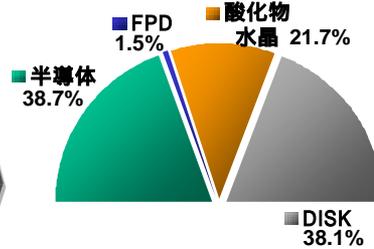
- アプリケーション別売上構成比 -

2008年9月期中間



(13,257百万円)

2009年9月期中間

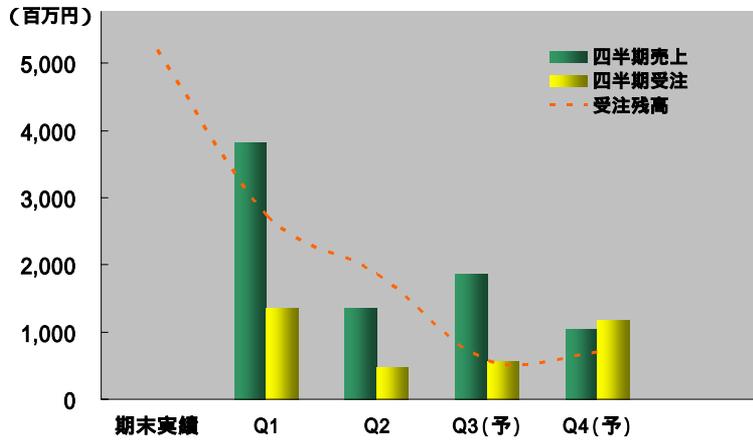


(5,130百万円)

主要項目の結果と展開

- ▶ エレクトロニクス製品全般における急峻な軟調化の影響から、Si ウェーハ向け両面研磨装置の需給関係は、完全調整フェーズ
- ▶ ハードディスク向け装置も新規需要は停滞
売上計上11億円と受注残高2億円
- ▶ 先端要求への技術革新には継続的に注力
21年9月期 研究開発関連：通期4.5億円水準

受注残高の推移予測



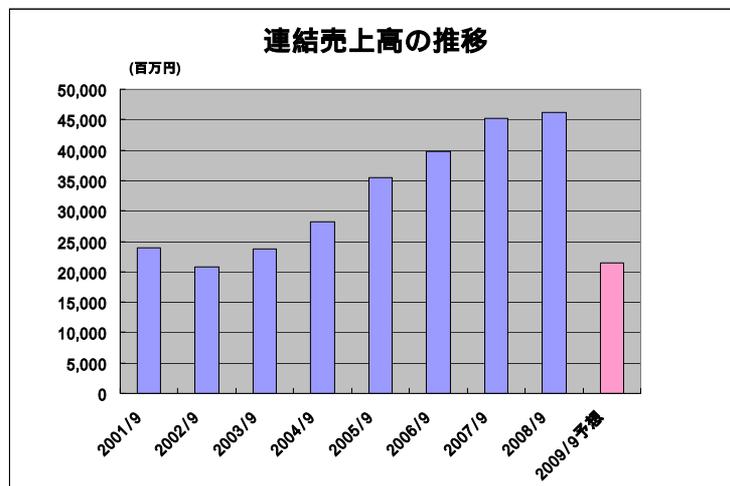
平面研磨事業

27/33

< 連結 >

Topics

事業構造改革の実施



今期売上予想は、7年前の水準。今後もV字回復は厳しい状況

事業構造改革の実施

実施の背景

当社グループを取り巻く市場環境が激変し、V字回復が厳しい状況下、中長期的な収益力向上、経営基盤強化の観点から、抜本的な構造改革が必要と判断

内容

1. 溶接事業での需要減による最適生産規模への再編
国内及び米国の生産拠点集約
豪州子会社での消耗品の生産中止
2. 最適生産規模再編に見合った組織体制の構築
組織の集約
人員調整

事業構造改革の実施

国内生産拠点の集約 今年後半を目処
(相模工場を山梨工場に統合)

米国生産拠点の集約 6月目処

豪州子会社での生産中止 今期中を目処

人員調整 今年後半を目処

に改革を推進する計画

これに伴い発生する一時的・臨時費用を今期決算に計上予定
影響額等の詳細は、確定し次第開示します

自社株買い実施および配当計画

1. 自己株式の取得

取得期間：平成20年11月11日～平成20年11月25日

取得した株式の種類：当社普通株式

取得した株式の総数：1,373,700株

取得総額：997,789,800円

取得方法：市場買付

2. 配当計画

1株当たり配当金

中間期末時点 30円(うち、設立50周年記念配当10円)

期末時点 期初予想 20円 未定

OBARAグループのVISION

ニッチ市場において

世界一の企業集団を目指す

ご静聴ありがとうございました



<http://www.obara.co.jp>